

介護保険の今後を考える

- ◆ 6月18日(土)午後1時30分～ (開場、午後1時から)
- ◆ PLP会館(4階中会議室) 大阪市地下鉄堺筋線扇町駅/JR環状線天満駅下車(地図参照)

「制度の持続性を確保する」ということで、介護保険は、15年間改編に改編を繰り返してきました。16年目の今、見えてきたことは、要介護3以上を保険サービスの対象にし、「それ以下は、地方・地域でサービスを作り出して下さい」という国の方向性です。「介護の社会化」を目指した制度は、再び家庭・家族責任へ帰ってきました。現状では、「助け合い」が自然にでき、高齢者がその人らしく住み続けることができる地域は、どこにもないからです。

私たちは、改めて問い直してみる。国の制度に頼り切って来なかったか? 介護労働の現場の疲弊を考えたか? 保険財源の枯渇で介護保険料が高くなる、また、40歳~64歳の稼働世代の負担増と生活の困難さを考えたか? 結局、介護保険料を上げ、税負担を上げるか、サービスをあきらめるかを国が私たちに、それとなく突き付けているのです。国が押しつけて来る選択肢と異なった道を私たちはそろそろ考え始めることが求められています。

- ◆ **ゲストスピーカー** 櫻井 琢磨 (厚労省老健局振興課地域包括ケア推進係長・生活支援サービス係長)

仲間を誘って、聞きたいこと、質問、意見、異論・・・いっぱい持って来て下さい。

(参加資格、参加費) 関心ある人は誰も歓迎、事前申し込み不要。参加費は無料です。

(主催) 大阪市立大学大学院 創造都市研究科都市共生社会研究分野

(共催・協賛など) 高齢社会をよくする女性の会・大阪、大阪宅老所・グループハウス連絡会、
PLP会館大阪地方自治研究センター、NPO法人日本福祉文化研究センター、泉南生活協同組合
大阪有償ボランティア団体連絡会

【連絡・問合わせ先】 〒530-0001 大阪市北区梅田1丁目2-2-600 大阪駅前第2ビル6階
大阪市立大学大学院創造都市研究科・都市共生社会研究分野(担当教員・水野 博達)
メールアドレス mizuno@gfcc.osaka-cu.ac.jp



- ▶ 大阪市営地下鉄堺筋線 扇町駅4番出口より徒歩3分
- ▶ JR大阪環状線 天満駅改札口より南側へ徒歩5分